

幼保小の **かけ橋** プログラムだより

このお便りは、横浜市の「架け橋プログラム」の一環として発行しています。架け橋期の教育の充実のために、みなさんの取組に生かしてください。

令和5年度 幼保小夏の教育連携研修会(分科会)

「探究心を発揮する子ども」へ～子どもの姿と大人の援助を語り合おう～

7月25・26日に上大岡のウィリング横浜で行われた教育連携研修の様子を、ご紹介します。
この研修会は毎年盛況で、今年も多く参加者を迎えることができました。

- 7月25日(火) 13:30~16:30
 - ★第1分科会「健康部会」
 - ★第2分科会「人間関係部会」
- 7月26日(水) 9:30~12:30
 - ★第3分科会「環境部会」
 - ★第4分科会「言葉部会」
- 13:30~16:30
 - ★第5分科会「表現部会」
 - ★第6分科会「特別支援教育部会」

各分科会には、80~100名の参加がありました。

分科会ごとに、保育園、幼稚園、小学校から1本ずつ実践提案を行いました。

分科会1「健康部会」 小学校の提案より

低学年の多様な動きをつくる運動遊びでは、様々な動きを楽しく経験し、動きの幅を広げます。
運動の経験に差がある子どもたちが安心して楽しく遊ぶために、幼稚園と保育園の先生に相談をし、子どもたちが入学前までに経験したことがある遊び、動きをまとめ、アンケートを取りました。



その中でも、経験が多かった かんぼつくり、ケンケンパー、いわ登りの動きを取り上げ、安心して運動に取り組めるようにしました。



参観者の声

園での経験を考慮して授業づくりをしているんですね!また、「OOワールド」などのストーリー性があり、子どもたちが楽しそうです!

分科会2「人間関係部会」 保育園の提案より



恐竜好きの子どもが、ブロックを使って恐竜の足跡や模型を作り始めました。
次第に恐竜づくりの輪は広がり、話し合いしながら火山や卵も協力して作り、大きなジュラシックランドが完成しました。



参観者の声

その子の好きなことや得意なことを生かした「遊び」を支援することで他者とのつながりが生まれるんですね!

分科会4「言葉部会」 幼稚園の提案より



外国につながる子どもも多いことから、いろいろな国のあいさつや文字、国旗へと子どもの興味は広がりました。たくさんの「なんで?」が生まれ、いろいろな調べ方に挑戦したり、分かったことを年中さんにクイズで教えたりしました。

言葉は教え込むものではなく、人とのかかわりの中で、様々な経験を通して自然と湧き上がる感情に乗せて出てくるのだと納得です。



参観者の声

来年度は、小学校の先生方がより多く参加されることを期待しています!ちなみに、**令和6年度は、7月25日(木)・26日(金)**に開催予定です!!



こども青少年局保育・教育支援課 幼保小連携担当